

# おおおわ

大

議会だより

第152号  
平成30年  
4月26日発行

## 3月定例会

平成30年度予算可決

広域光化事業実施で大型予算

..... 3

村政を問う

6人が一般質問 ..... 10

キラリ！中学生②

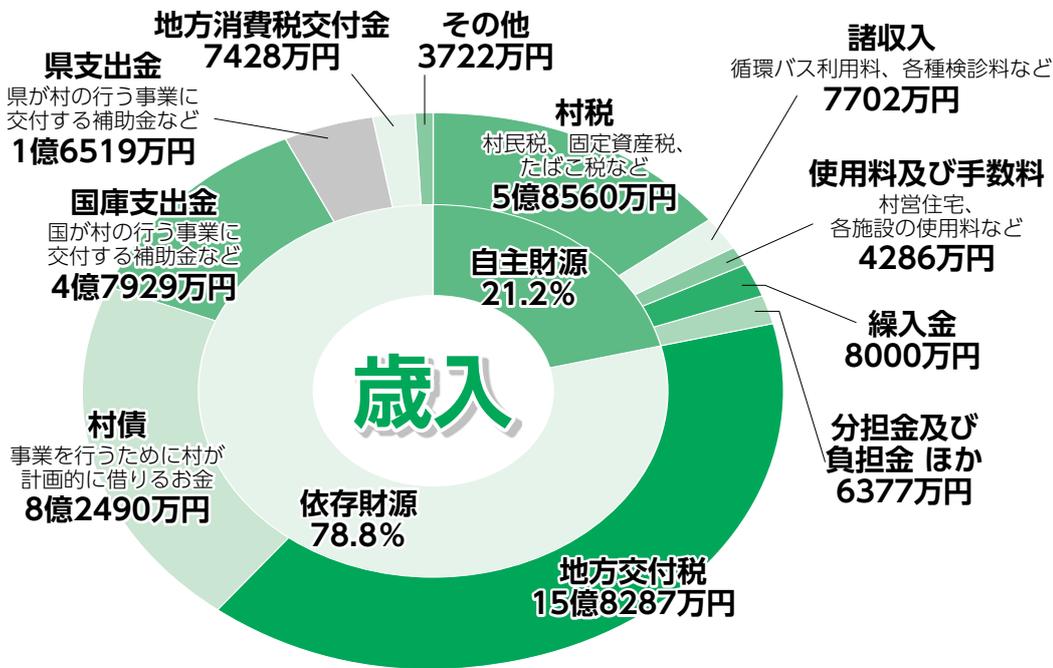
女子バスケットボール部 ... 18



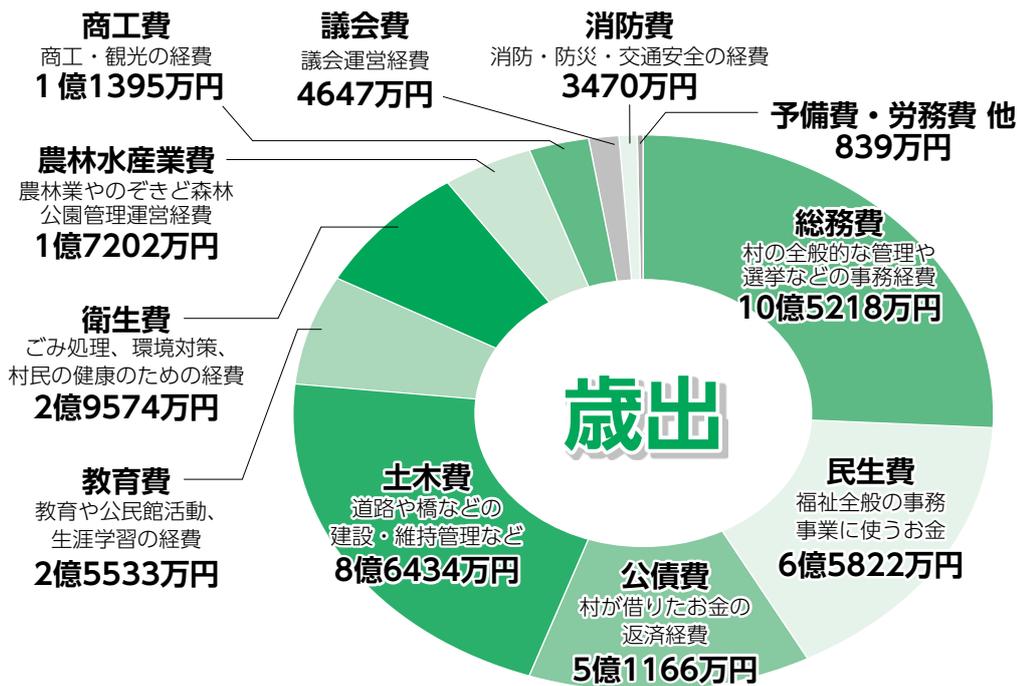
須原鹿島神社絵馬

# 3月定例会

3月定例会は、3月2日から19日までの18日間の会期で開かれ、諸報告、請願1件、陳情1件を採択、一般質問（6名11件）が行われた。  
 村長提出議案は、条例改正等13件、補正予算5件、工事請負変更契約2件、指定管理者の指定1件、新年度予算6件などが上程され、慎重審議し可決した。また、副村長の選任及び教育長の任命について同意した。



平成30年度一般会計予算  
 40億1300万円 前年度対比4.6%増



## 平成30年度 会計別当初予算額

(単位：万円)

合計	当初予算額			
	本年度予算額 平成30年度	前年度予算額 平成29年度	前年度比	
			増減額	増減率%
一般会計	401,300	383,500	17,800	4.6
村営水道事業特別会計	23,725	23,170	555	2.4
国民健康保険事業特別会計	38,163	42,397	△ 4,234	△ 10.0
農業集落排水事業特別会計	9,692	9,644	48	0.5
公共下水道事業特別会計	8,249	7,938	311	3.9
後期高齢者医療事業特別会計	6,740	6,473	267	4.1

# 村民の生活向上と 子育て支援に重点

## 広域ケーブル光化事業に4億円計上

## 子どもインフルエンザ予防接種全額助成

## 阿寺溪谷マイカー規制

### 新年度注目事業

- 
- 阿寺溪谷マイカー規制  
溪谷内シャトルバス運行
  - 福祉医療費給付事業  
18歳まで窓口無料化（8月実施）
  - 下在郷分館エアコン設置
  - 子どもインフルエンザ予防接種  
全額助成
  - 冊子「須原」復刻版発刊
  - 新生児聴覚検査助成
  - 庁舎建設使用材調達村有林  
作業道整備（中尾沢）
  - 小学校プール改修  
（電源立地地域対策交付金）
  - 越百避難小屋  
バイオトイレ整備
  - 宅地造成事業  
（野尻大曲5区画）
  - 障がい者グループホーム  
建設用地整備
  - 生活向上
  - 運転免許証  
自主返納支援事業
  - 広域ケーブルネットワーク  
光化事業
  - Jアラートシステム改修
  - 乗合タクシーエリア拡大（村内全域）
  - 第3分団消防ポンプ庫建設  
（電源立地地域対策交付金）
  - 各種証明書コンビニ交付システム構築
  - 橋梁定期点検（庭の畑橋）
  - 大桑橋整備工事（上部工）
  - 橋梁修繕  
（奥宮の沢1号橋、浦川第1号橋）
  - 野尻地区水道配水管布設替工事
  - トンネル修繕（田光隧道、猿鼻隧道）

## 当初予算審議

### ◆◆歳入◆◆

#### 村税

**Q** 固定資産税が780万円の減額になっているが減額の理由は。

**A** 土地家屋の評価額、一般償却資産、および大規模償却資産の減少、企業の設備投資がされていないことが要因。

**Q** 村民税均等割は1963名、昨年は1940名で多くなっているが。

**A** いったん退職した後、に再就職した人が増えている。課税額全体では減少している。

**Q** 法人税割の件数は。  
**A** 24社である。

**Q** 生産森林組合への課税が負担になっているが、法人税の減免措置を受けられないのか。

**A** 生産森林組合を組織している地区の方が補助金を多く受けられる面もあるが、今後の課題として考えていく。

#### ふるさと納税

**Q** ふるさと納税に対するような対応をしているのか。

**A** 大桑村を応援したいという趣旨を尊重し、一割程度の返礼を出している。

**Q** 現在のやり方ではふるさと納税の増額は見込めない。村の経済効果を生むような施策は。

**A** 今までどおり本来の趣旨を尊重したい。

#### 住宅耐震補助

**Q** 住宅耐震補助金、補強補助金が前年度比6割増となっているがその要因は。

**A** 耐震補助金、補強補助金も上限額を一件60万円から100万円

に引き上げたことによる。

#### 木楽舎

**Q** 木楽舎の経営をどのようにみているか。

**A** 必ずしも向上きではないが、立地条件を生かし、来訪者および客単価の増加のため毎年努力している。村としても施設の修繕等で協力していく。

### ◆◆歳出◆◆

**Q** 総合計画策定支援業務にあたり後期基本計画においてアンケート調査の結果は。

**A** 小学校高学年以上の年齢を対象に実施。結果はホームページに掲載している。平成30年度、後期基本計画の策定において、調査結果を反映させる。

**Q** 地域景観整備事業

で、新年度の実施場所は。

**A** 県と広域連携事業と合わせ、木曾右岸和村橋下流支障木の伐採をする。

#### 障がい者グループホーム

**Q** 木曾社会福祉事業協会が事業主体のグループホームが須原本町に建設されるが、事業内容は。

**A** 村では、8月以降に建物の取り壊しと整地を行う。建設は10月より木曾社会福祉協議会が事業主体で建設を



グループホーム建設予定地

進め、来年5月開場予定。

**Q** 建設にあたり地域住民と利用者とのコミュニティスペースを増設する方向性は。

**A** 県に対する申請に盛り込まれている。

#### 阿寺溪谷マイカー規制

**Q** 今年度から阿寺溪谷を訪れる観光客に協力金をお願いするようになるが、徴収方法は。

**A** 箱を設置する案を検討している。

**Q** 警備員の人数と配置は。

**A** 44日間、毎日5名。土日、お盆は1名増。溪谷入り口、村営住宅下、フォレスパ木曾入口に配置する予定。

#### のぞきど森林公園

**Q** 公園内の施設は利用状況をふまえた検討を。

**A** 運営委員会で平成

30年度には外部人材の導入も含め考えていく。



大桑駅前公衆トイレ

#### 公衆トイレ

**Q** トイレの清掃、管理はどうしているか。

**A** 3駅は村費の駅員に、橋場はシルバー人材センターへ依頼している。

#### 地域おこし協力隊を

**Q** 後期計画の中で地域おこし協力隊を迎え入れる計画は持っていないか。

**A** これまでも要望が

あり、受け入れの検討をしていきたい。

**木楽舎トイレ撤去**

**Q** トイレの大きさと撤去後の利用は。

**A** 60㎡あり、倉庫に利用する。

**Q** 道の駅のトイレの改修計画は。

**A** 国交省で来年度、改修予定と聞いている。

**木曽病院**

**Q** 病院の再編によるベッド数の減少や医師看護師の過重労働などどう受け止めているか。

**A** 再編の大きな理由は人口減少による。しかし、医療の質の低下にならないように基幹病院としての役目を果たすと聞いている。  
**意見** 大切な問題であり、しっかり関係者の説明を受ける機会を作るよう求める。

**機械の有効活用を**

**Q** 村単独の里山整備

事業の規模を拡大し、木材のほか竹の処理も粉碎機を活用し、森林組合へ委託できないか。  
**A** 機械の有効活用は大事であり、森林組合へ委託していく。



粉碎机作業状況 (H28植樹祭)

**学校給食**

**Q** 平成30年度から主食の米代を給食会計へ補助することで、給食費はどうなるか。

**A** 再算定しているが、保護者負担は据え置きになる。



大桑小学校給食献立

**意見** 給食は教育の環境であり、無償化、あるいは一部助成している自治体もある。今後の検討課題に。

**補正予算審議**

**マイナンバー**

**Q** マイナンバー総合運用テスト業務経費の内容は。

**A** 運用開始になったマイナンバーが適正に運用ができるかの試験。

**乗合タクシー**

**Q** 乗合タクシー運行委託料減額理由は。

**A** 人口減少や高齢化の進行により利用者が減少傾向にある。利便性を高めるため平成30年度から利用エリアを村内全域に広げる予定。

**有害鳥獣被害**

**Q** 有害鳥獣駆除補助金が増額となっている。被害の最近の特徴は。

**A** 長野地区はタヌキ、シカによる被害が多くなっている。

**消防団運営費**

**Q** 消防団退団報奨金141万円増額は中途退団によるものか。

**A** 転勤等による5名の退団である。

**Q** 団員の確保が課題と思うが、現状は。

**A** 消防団も努力し、啓発など力を入れて行っている。本年4月には5名の入団が予定されている。

**文化財保護経費**

**Q** 指定文化財補助金15万円の内容は。

**A** 須原鹿島神社大杉の枯れ枝除去。

**除雪経費**

**Q** 除雪費増額の内容

**A** は。12月は2日。1月

**Q** 除雪する村道の距離は。

**A** 村道110キロ。生活圏の農林道も除雪を行っている。

は23日、2月は13日現在39日、合計延べ64日の出勤があった。現在まで1700万円の経費が掛かっている。

**会計別補正状況**

(単位：万円)

会計	補正額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	△ 651	378,090	庁舎建設基金積立追加 3,000 乗合タクシー運行委託料減額 △ 117 障害者福祉事業減額 △ 1,511 新ごみ処理施設建設負担金減額 △ 525 有害鳥獣駆除補助金追加 30 除雪経費追加 891 大桑橋整備工事追加 440
村営水道事業特別会計	△ 59	25,383	統合簡易水道事業減額 △ 58
国民健康保険事業特別会計	186	45,027	療養給付費追加 920 共同事業拠出金減額 △ 894
後期高齢者医療事業特別会計	234	6,706	広域連合納付金追加 234

# ●年金制度に関する請願を採択

# ●新年度予算に広域光化事業予算

# 4億円を計上

## ▼付託事件の審査

「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出に関する請願について

紹介議員から、新たな資料の説明を求めた。委員からは、支給年齢の引き上げ等の流れが無く、将来の不安が解決されていないこと、弱年齢層に多い非正規労働者には、最低保障年金制度が必要等の意見が出された。  
**審査結果**  
賛成多数により採択

## ▼平成30年度 主要事業について

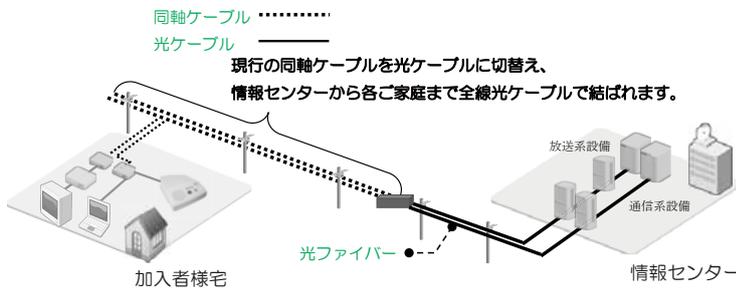
所管する課の予算の重点項目について、説明を求めた。主な新規事業は、CATVのFTTH化（光化）事業・各種証明書コンビニ交付システム構築事業・第3分団消防ポンプ車庫建設・運転免許証自主返納支援事業・福祉医療費給付事業18歳まで窓口無料化・子どもインフルエンザ予防接種全額助成・小学校プール改修工事等。

## 所感

新大桑橋建設事業等の継続事業のある中で、新規事業として4億円



改修予定の大桑小学校プール



現行の同軸ケーブルを光ケーブルに替え、  
情報センターから各ご家庭まで全線光ケーブルで結ばれます。

木曾広域  
ケーブルネットワーク  
光化事業イメージ図

## 議員研修報告

## 議員として

## 防災・減災への対応を再考

研修日 2月9日  
場所 名古屋市

日本は、地震災害・津波災害・台風災害・豪雨災害等、世界でも最も災害リスクの高い国と言われているが、議会としての対応は、全国的に見てもほとんどなされていない。大桑村議会も、議会基本条例における危機管理体制の位置づけは、これからの課題になっている。そのための情報収集の一環として、今回の研修を実施した。全国的に見ても、災害発生時には、行政は災害対策の要として活動するが、議会は蚊帳の外とのことである。しかし、議会も行政と同様に、住民の安心安

全な生活が保たれるための活動は重要である。災害時の被害状況の把握、情報収集。被災時の住民への情報提供・避難所情報・救援情報。復興時の住民への情報提供等、執行部の災害対策本部と住民の結び目としての役割を改めて認識することができ、有意義な研修となった。また、議会・議員として防災・減災への対応を再考する機会ともなった。今後、各種研修会への参加を通じ、住みよい村づくりに向けた議論を深めていきたい。

(報告者 鈴木 武)

## ●阿寺溪谷シャトルバス運行 ●量水器使用料徴収

### ◎1月26日開催

#### ▼夏季阿寺溪谷の 通行規制について

平成30年度の対策として

① 夏場の溪谷内車両の増加による交通渋滞の問題に対しては、マイカーなどの通行規制を実施し、有料シャトルバスを運行する。通行規制の期間は、7月21日から9月2日の44日間。規制方法は、昼間は警備員による規制。夜間は通行止め看板と柵を設置し、マイカーなどの乗り入れを規制する。



阿寺溪谷入口混雑状況

### ◎2月26日開催

② 溪谷の整備や交通整理の警備員等の経費の増加に対しては、阿寺溪谷管理運営協

議会が来訪者から協力金を徴収し、必要経費に充てることを決めた。

### ◎2月26日開催

#### ▼来年度の主な新規 事業等について

村道大野線防護柵設置、橋梁定期点検（庭の畑橋）、橋梁長寿命化計画策定（法定点検を受けての計画）、宅地造成事業（大曲5区画）、庁舎建設使用材調達のための村有林作業道整備（中尾沢）、越百避難小屋パイオトレ整備等を予算計上した。

大桑橋整備工事については、平成30年度から上部工が始まる。工事の残土処理場については、本年度伊奈川地区に確保したが、今後



大桑橋整備工事

も不足が見込まれるため場所の選定をしている。宅地造成地（大曲）は道路が行き止まりのため、アクセス道路の整備について要望した。

量水器使用料徴収について、施行日は、住

民への告知期間を考慮して平成30年8月1日とし、10月分から徴収されることとなる。以上、産業振興課、建設水道課の担当者より説明があった。

（報告者 沼 友行）

# こんなことが決まりました

## 量水器使用料徴収のための条例を改正—8月1日施行

### 報 告

● 議会の委任による専決処分  
村の義務に属する交通事故の損害賠償額の決定

### 条例改正

- 情報公開及び個人情報保護に関する条例  
個人情報保護法の改正に伴う条文の改正
- 資金積立基金条例  
木楽舎の施設整備に要する費用の財源に充てるための基金を新設
- むらづくり基金条例  
むらづくり基金の用途に「阿寺溪谷の自然環境の保全と整備」を加える。
- 保健センター設置条例  
保健センターの冷暖房使用時の使用料の見直し

### 国民健康保険条例

● 国民健康保険法の改正及び県への移管に伴う条文の改正

### 後期高齢者医療に関する条例

● 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の改正に伴う条文の改正

### 火入れに関する条例

● 条文中の「注意報」の名称を現在使用されているものに改正

### のぞきど森林公園設置条例

● のぞきど森林公園のテントサイトの使用料の見直し  
(1張2500円)

### 村営水道条例

● 量水器使用料の徴収に伴う条文の追加

### 消防団員等公務災害補償条例

● 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴う条文の改正

### 指定管理者指定

● 阿寺溪谷キャンプ場  
指定管理者  
阿寺溪谷エコくらぶ  
代表 半坂 純孝

● 期間  
平成30年4月1日～  
平成33年3月31日

### 契約変更

● 平成29年度村道川北一号線落石防止工事  
変更請負契約

● 変更金額  
216万円

● 変更後の金額  
7020万円

● 契約の相手方  
奥田工業(株)

● 平成29年度大桑橋整備工事変更請負契約

● 変更金額  
2276万円

● 変更後の金額  
3億3442万円

● 契約の相手方  
吉川・奥田建設

共同企業体

### その他

● 木曾広域自立圏形成に係る連携協約の締結  
少子高齢化が進む中、木曾郡内の町村が広域自立圏を形成し協力して事業に取り組むため、郡内各町村と連携協約を締結。移住定住促進事業、眺望景観整備事業などを実施する。

● 木曾広域連合規約変更  
木曾広域連合の業務の追加及び変更に伴う変更

● 木曾広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄

● 構成町村としての出資金の権利一部放棄

● 長野県町村公平委員会共同設置規約の変更  
長野県町村公平委員会を共同設置する団体の名称変更に伴う

### 変更

### 人 事

● 副村長の選任

大桑村長野  
羽根田 勉氏  
同氏を選任することに全会一致で同意

● 教育長の任命

大桑村長野  
須賀 幸弘氏  
同氏を任命することに全会一致で同意

● 人権擁護委員の推薦

大桑村長野  
榎秋 智子氏  
同氏を推薦することに全会一致で決定

# 庁舎建設の動き

## 庁舎建設特別委員会

### 中尾沢村有林調査

◎新庁舎建設に使用する資材について、村有林の調査を実施した結果と今後の見通しについて説明を受け協議。

伐採場所は和村、中尾沢村有林。

◎中尾沢村有林調査結果  
村有林材を有効利用するため、スギ材を圧縮加工しフローリング材とし

て使用（中央ホール、図書室、待合スペース、多目的ホール等）

◎村のシンボルになる庁舎であり村有林材を有効利用することは意味がある。

木曽五木の使用や備品に村有林材を使用する等多くの提案が出された。

スギ	ヒノキ	サワラ	計
1,417m <sup>3</sup>	401m <sup>3</sup>	223m <sup>3</sup>	2,041m <sup>3</sup>

### 請願

●「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出に関する請願

【請願者】

全日本年金者組合木曽支部

事務局長 小林 大祐

【紹介議員】

古畑 昌夫

【結果】

賛成多数で採択

### 陳情

●核兵器禁止条約への参加を求める意見書採択を求める陳情

【陳情者】

九条の会木曽連絡会

代表 小松 功

委員会・木曾

代表代行 澤木 政良

【結果】

賛成多数で採択

# 一般質問

## 議員6人が村政を問う

3月定例会の一般質問は12日に6名11件を行いました。次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

### 一般質問とは

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

#### ・質問時間は40分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1人40分以内です。

#### ・一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

#### ・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。

# 総合計画における 高齢者施策の見直しは 課題を見直しながら進めている



細田 光一 議員



デイサービス（中組有志による慰問演奏）

**Q** 第5次大桑村総合計画における高齢者施策に関する指針の見直しの現状は。

**A** 村の実情に即した高齢者福祉計画を、3年毎に策定しておりそれぞれの課題を見直しながら進めている。また、介護保険計画についても木曽広域連合で同様に進めている。

**Q** 計画見直しの際にサービスを受ける高齢者の意見はどの様に反映されているか。

**A** 高齢者福祉計画の見直しは、社会福祉協議会をはじめ、高齢者活動団体等それぞれの組織の代表者で検討委員会を構成し、各委員の日頃の活動の中から高齢者の要望等を反映

しながら進めている。  
**Q** 今迄の経過の中で最近の傾向や特に重要な課題は。

**A** 一人暮らしの高齢者と高齢者のみの世帯が増えてきておりこの対策が重要な課題となっている。

**Q** 今後の高齢者施策を進めていく上で高齢者の推移をどの様に予測しているか。

**A** 一人暮らし高齢者世帯と高齢者のみの世帯（65歳以上の夫婦世帯）が増加してきており平成29年では一人暮らしの高齢者世帯が294世帯、高齢者のみの世帯が308世帯、合計602世帯となり、これは村内全世帯の37・7%に当たり今後もう少し増加傾向で推移していく見込み。  
**Q** 高齢者の要望事項として身近に活用できる移動手段の確保があるが、村の考えは。



大島カフェ（運動指導の様子）

**A** 平成30年度から村内全域に乘合タクシーのエリアを拡大する。今後地域公共交通について住民ニーズに答えるべく様々な手法を検討していく。

**Q** 身近な移動手段を確保する一案として村で乗用車を用意し、運転は村内の有志を募り、

利用者は事前予約等の組合せで運用するような手法が検討できないか。

**A** 阿智村ではその様な組合せで運用しているボランティア団体もあるが、当村でもそのような活動の動きがあれば相談に応じたい。



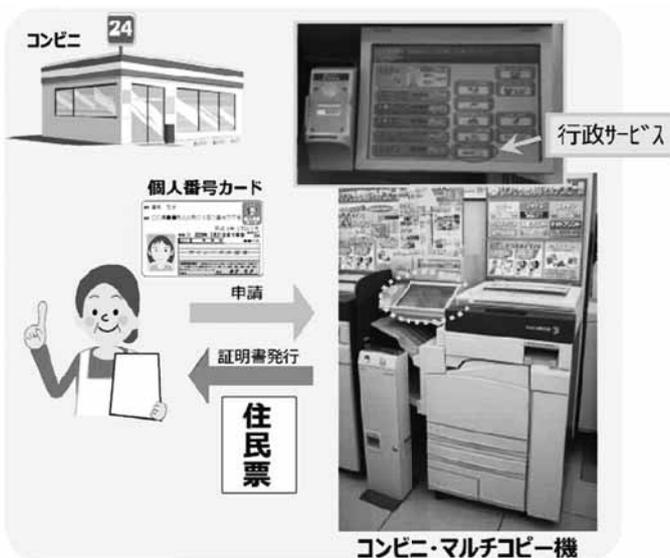
鈴木 武 議員

# 証明書コンビニ交付 システム事業は必要か 住民サービスの向上に つながる事業と認識している

**Q** F T T H 化（光化）事業が木曾広域連合の事業として、平成30年度から3年間を要して始まる。当村は、初年度にこの事業を実施する。大容量の情報を超高速で各家庭に届けられるシステムの導入である。村は、どのような利用方法を計画しているか。

**A** 防災力の強化、公共福祉及び教育環境の充実、企業間の連携強化、観光発信力の強化が考えられる。今後、必要性を考え検討していきたい。

**高見** 観光者への対応も兼ね、新築した駅前にトイレ付近へのフリーWiFi設置やブロードバンド環境を利用した介護予防対策、テレワーク・ワーキング



証明書コンビニ交付イメージ

**Q** 証明書の発行が可能な時間帯で、土日祝祭日や村外でも証明書の発行が可能になるため、住民サービスの向上につながる事業として国の財政措置期限内に実施するものである。

**Q** 定住化策として、2638万円の事業規模で野尻大曲地籍に5区画の宅地造成計画がある。場所選定に至った経緯と周辺のインフラ整備の必要性を感じるが計画はあるか。

**A** 朝6時半から夜11時の時間帯で、土日祝祭日や村外でも証明書の発行が可能になるため、住民サービスの向上につながる事業として国の財政措置期限内に実施するものである。

**Q** 定住化策として、2638万円の事業規模で野尻大曲地籍に5区画の宅地造成計画がある。場所選定に至った経緯と周辺のインフラ整備の必要性を感じるが計画はあるか。



入園式の様子

**A** 村へ寄付された村有地があること、近隣の耕作放棄地の地権者の協力もいただいたため選定した。転落防止フェンスは設置したい。

**Q** 平成30年度の園児数は、8名減の64名となり年々減少している。少子化対策・子育て支援として、幼児教育を

加速させる視点からも、保育料全額村負担を実施する時期ではないか。

**A** 親の責務、自覚の観点から、村の全額負担は現状では考えていないが、国の幼児教育無償化の動向を注視しながら検討していきたい。



水野 進 議員

# 活性化・振興施策の推進は 福祉と生活利便性の向上第一に



遊休農地の有効活用（北名古屋市民とそばづくり交流）

**Q** 阿寺溪谷・車両進入禁止の準備状況は。

**A** 7月21日～9月2日の間、規制する。現在、観光団体等やホームページ・雑誌等で周知徹底を図っている。

**意見** 来訪者の散策要望に応えるためには、途中に停車所設定や同一料金・乗降自由方式

の導入が望ましい。  
**Q** 検討されたのか。

**A** 管理運営委員会の要望もあり、運業者へ伝えている。

**Q** この施策実現で得たノウハウは何か。

**A** 自然環境の保全、溪谷美を後世に残すという村の方針が、村民の意向と一致し、車両

流入抑制が最善との結論を得たこと。規制先進地視察を通し、民間事業のシャトルバス運行としたこと。関係組織等の理解、協力が得られたこと等である。

**Q** 今までの活性化や振興施策への評価は。

**A** 福祉、安全確保、生活基盤整備、産業振興面の諸施策は、住民生活に直接・間接的に寄与、成果を得ている。

**Q** 今後の活性化と振興の主要対象は。

**A** 大桑村に暮らす人の生活安定、福祉向上と生活基盤整備での利便性向上であり、基本計画にも反映させたい。

**Q** 今後の活性化・振興推進の考え方は。

**A** 福祉と生活利便性向上を第一に考える。  
**Q** 荒廃・遊休農地、空き家活用等の措置は。

**A** 再生可能22ha、困難11・3haである。農地以外への利用は転用



平成26年度空き家実態調査

手続きが必要となる。

**意見** 制約在りきから脱し、利活用促進の努力と施策化が、今後の大きな課題となる。

**Q** 空き家等の現状と措置は。

**A** 平成26年度調査以降、78軒増の286軒で、特定空き家と準ずるもの16軒、その中で、

空き家特措法・条例に基づく措置執行が4軒ある。須原門前の空き工場は状況確認中、野尻本町の空き家は世襲相続人を確認中である。  
**要望** 須原門前に、屋根の梁が落ち、崩落しそうな空き家が在る。崩落被害局限への対応措置を要望する。



木戸 勘一 議員

# 『移住定住促進課』の設置は 現在の課として支障はない

**Q** 第5次大桑村総合計画、前期基本計画の最終年度を迎え、地方創生として、若者の定住促進に重点を置く施策について、村内各世代におけるUターン者の実績は。

**A** 県が実施した市町村窓口アンケート調査では、平成28年度上半期でUターン者は3世帯、Iターン者3世帯

## 人口ビジョンの進め方は

である。平成29年度Uターン者4世帯、Iターン者4世帯である。

**Q** 「帰ってきたい村」へのUターン者に重点を置く施策は。

**A** 総合戦略策定後、大桑村の情報発信や「移住促進ガイド」を配布している。平成30年度から、広域連携事業でも「移住定住促進事業」を進める。

**Q** 2040年、2760人、人口目標に対して、村及び木曾全体



移住促進ガイド

**Q** 和村地区における居住体験事業に対して平成30年度の進め方は。

**A** 総合戦略策定に基づき今年度も継続して行う。

**Q** 総務課の居住体験事業と建設水道課の空き家バンクを横断的に進める課として「移住定住促進課」の設置は出来ないか。

**A** 両方の課では、居

中津川市への通勤圏と雇用確保への対応は。

**A** 現在の雇用状況は1・60と高い水準であり、人手不足である。今後は岐阜県との連携として雇用連絡会議で情報交換を進める。

## 移住定住促進の対応

**Q** 大桑村道の駅の活用として、移住定住促進コーナー設置状況は。

**A** 3月より道の駅指定管理者が変わり、協議を進めていく。

住体験、空き家情報は共有しており、移住定住を図るうえで支障はない。

## 少子高齢化での職員体制は

**Q** 人口減少が進む中、住民サービスを維持するための職員体制は。

**A** 今後、今までの以上にきめ細かい行政サービスを提供していく。職員定数は条例で70人に定められ、この人数で最大の効果が得られるように進めていく。

**Q** 議会では大桑村消防団幹部団員と懇談会を開き良い意見が交わされた。村では若い職員による村づくり意見交換は実施されているか。

**A** 若い職員が増えていくが、業務内外での意見交換は進めており理事者とも行っている。また、郡町村職員による地域連携も検討していきたい。



おためし居住物件

# ケーブルテレビの光化で 防災・地域福祉の充実を

## 防災チャンネル 独居老人の見守りなど検討したい



古畑 昌夫 議員



独居老人宅緊急通報装置

**Q** ケーブルテレビの光化事業の財源確保の経過は。

**A** 木曾広域連合の平成30年度からの事業として、総務省の補助が、当初の2分の1が4分の1となり、補助裏は過疎債を充当することになった。光化は、ケーブルテレビの設置当初から検討されてい

たが、財源の裏付けがなかった。

**Q** 光化によって、防災ネットワークの充実ができるか。

**A** 防災チャンネル、道路、河川の監視カメラの利用もできる。また、地域福祉として独居老人の見守りや医療関係の連携にも活用できる。

**Q** 防災の拠点となる新庁舎の建設に合わせ、積極的な活用を研究する必要がある。

**A** 6町村が連携して検討する必要がある。

**Q** 村長の予算編成方針では、「村内では、自動車関連企業は引き続き無難な操業を続けているが、地場産業や建設関連産業は依然厳しい経営状況となっている」と指摘している。村内の自動車関連の現状はどうか。

**A** 会社内にプロジェクトチームを立ち上げて、和村の新工場設立造成について検討が進んでおり、量産体制に入っていると聞いている。

**Q** 新規採用もしているようだが、雇用面はどうか。

**A** 中小企業の雇用確保は厳しい面があると聞いている。

**意見** 第5次総合計画



戦後70年「あのころの記憶展」(H27.8)

の後半の計画で、農林業など地域経済の積極的支援を求めたい。

**Q** 平和への思いと9条の意義について。

**A** 大桑村は、非核宣言、平和首長会議への加盟、被爆者国際署名

に賛同した。戦後70年の記念事業でも平和への強い思いがよせられている。戦後72年間戦争犠牲者を出さなかつたのは世界に誇るべきことであり、このまま

で良いと思う。



瓜尾美佐子 議員

## 教員の長時間労働への対応は 村独自の加配で支援

**Q** 村職員の働き方  
**Q** 職員定数の考え方  
と課題は何か。

**A** 定数は条例に定めた70名は必要数として維持したい。少子高齢化による住民ニーズの多様化や権限移譲に伴う事務量の増加などで現状は厳しい。



小学校授業風景

**Q** 時間外勤務と年休の取得状況は。

**A** 課によって、また時期によって集中するが、一人当たり1か月10時間前後、年休は一人あたり11・3日。

**Q** 教職員の働き方

**Q** 文科省の実態調査で小中学校の教職員の

**Q** 時間外勤務と年休の取得状況は。

**A** 課によって、また時期によって集中するが、一人当たり1か月10時間前後、年休は一人あたり11・3日。

**Q** 教職員の働き方

**Q** 文科省の実態調査で小中学校の教職員の

深刻な働き方の実態が示された。村の教職員の働き方の実態は。

**A** 小中学校1か月当たり県平均は64時間、村では57時間で県を下回り、改善もみられている。過度な勤務の事例はない。

**Q** 県教育委員会が小中学校における働き方改革推進のための基本方針を示した。村としてどんな対応をしているのか。

**A** 部活動については社会体育と連携し、県のスポーツ指針の運用で平日は1日2時間、土日は1日午前から午後にはわたらないようにしている。子ども達の授業づくりに専念できるように、保護者の理解や協力を得ながら進めていく。



中学校授業風景

よる過度な競争主義、改定学習指導要領で「道徳」を特別の教科とし、小学校段階からの英語教育の実施などで授業時間を増大させてきたことにあるのではないか。

**A** 義務教育の枠の中で方針を実施していくかざるを得ない。教員の

負担は過度になっており、村独自の基準で対応することで支援していく。

**意見** 働き方改革というなら安倍教育政策を転換させ、教職員がゆとりを持って子どもに向き合える教育環境づくりが求められる。

# 木曾広域連合議会報告 第1回定例会（2月28日開催）

第1回定例会が行われ、条例制定3件、条例廃止2件、広域計画変更1件、規約の変更1件、補正予算2件、当初予算2件の提出議案全て可決成立した。

## 一般会計当初予算

新ごみ処理施設建設終了前年度対比9億円の減額（主要事業）

○FTTH化（光化）事業  
事業費は、平成30年度から3年間で総額約42億円。

○木曾老人ホーム木曾寮建て替え準備  
平成30年度から毎年3千万円の基金積立てが始まる。

○旧南部焼却施設（和村地区）解体  
解体費用2億854万円を計上。

## 介護保険特別会計

### 当初予算

第7期介護保険事業計画初年度  
新介護保険事業計画に基づく介護サービス給付費減額により、前年度比2億4664万円の減。

## 全員協議会

老人ホーム木曾寮建て替え準備始まる

○FTTH化（光化）事業について  
事業費財源について、補助金2分の1が不透明となり、補助金割れの恐れがあるが、計画通り平成30年度実施するとの説明を受けた。初年度に実施する地域は、大桑村・王滝村・木祖村の一部である。

○老人ホーム木曾寮建て替え準備  
木曾寮あり方検討委員会の答申を受け老朽化等の理由により新たな場所に建て替えが決まり、平

成36年4月開所に向け、平成30年度より5年間、年3千万円の基金積立てを行う。

○第7期介護保険事業計画（平成30年度～32年度）について  
40%を超える高齢化率や過疎化による人口減少等による中で、安定した財源基盤を確保し介護保

険運営を維持するため、従来の5480円の介護保険料基準額を320円増額し5800円とするとの説明を受けた。

（報告者 鈴木 武）

## 平成29年度補正予算

会計	補正額	補正後の額
一般会計	△6,788万円	48億3,300万円
介護保険特別会計	△1,038万円	44億5,442万円

## 平成30年度当初予算

会計	平成30年度	平成29年度	比較
一般会計	39億6,959万円	48億8,085万円	△9億1,126万円
介護保険特別会計	40億7,792万円	43億2,456万円	△2億4,664万円

## 松塩筑木曾

### 老人福祉施設組合

#### 2月20日開催

2月定例会は、条例改正1件、平成30年度予算、平成29年度補正予算等5事案が上程され、審議の結果、可決した。

条例改正は、老人デイサービスセンター条例の一部改正で老人デイサービスセンター「ききょうの郷」を平成30年3月31日に廃止することに伴い、必要な改正をするもの。

平成30年度予算は、継続的な課題である多様な人材の確保と、歳出面に於いては設備等の老朽化への対応が求められる、歳入の大半を占めるサービス収入の増加も見込めない経営環境の厳しい状況を背景に編成された。

予算額は4億9700万円（前年度対比2億4100万円増）で、限られた条件の中で、最大のサービスの努め、財源の不足分については、財政調整基金を取り崩し補填する。

（報告者 細田光一）

# 議会活動日誌

12 月					
13日	12月定例会	24日	森林環境税創設促進議員連盟正副会長会議 (～25日東京都)	20日	松塩筑木曾老人福祉施設組合2月定例会
15日	12月定例会 経済建設常任委員会 総務社会常任委員会 議会報編集特別委員会		木曾川右岸道路和村トンネル安全祈願祭 大桑村商工会行政懇談会		木曾広域連合議会 議会運営委員会
22日	社会福祉協議会理事会・評議員会	25日	林政懇談会		木曾広域連合議会 総務常任委員会、経済観光常任委員会
1 月		2 月			
4日	新年祝賀会	6日	松塩筑木曾老人福祉施設組合議会運営委員会(塩尻市) 消防団との懇談会	21日	木曾広域連合議会 福祉環境常任委員会
7日	消防団出初式	8日	庁舎建設特別委員会	22日	議会運営委員会
12日	議会報編集特別委員会	9日	地方議会総合研究所主催セミナー参加(名古屋市)	23日	県議長会第26回定期総会(長野市)
15日	郡議長会・国会議員との懇談会(～16日東京都)			24日	砂防懇談会
18日	議会報編集特別委員会			25日	大桑村の明日を語る集い
				26日	総務社会常任委員会・経済建設常任委員会
				28日	木曾広域連合議会2月定例会

## 行政報告(抜粋)

### 広域ケーブルネットワーク光化事業の財源確保

#### 右岸道路和村トンネル着工

総延長351メートル、事業費10億円で平成30年12月完成を目指す。

#### 大桑橋進捗状況

平成30年度は、左岸側橋台・橋脚に着手。上部工製作架設費を3か年の継続費で予算計上した。

#### 森林環境税創設

政府は、平成31年度税制改正で森林環境税、森林環境譲与税の創設を閣議決定した。森林

環境税の課税は平成30年度から、森林環境譲与税は平成31年度から実施。用途は、間伐のほか人材育成・担い手確保、木材利用の促進などとしている。

#### 広域光化事業

昨年12月22日事業推進を6町村が合意。その後、財源確保のための要望活動を行い総務省の補助金を申請することとし、広域の平成30年度予算に事業費の25%を見込んだ。残りは過疎債等で賄う。平成30年度は大桑村、木曾広域連合が事業実施する。

#### 木曾広域自立圏

県は、木曾広域連携推進会議を設置し新しい広域連携の仕組みを検討してきた。観光振興や移住定住促進、景観整備などの地域活動

の推進。公共交通など生活機能の強化など広域連携による地域の活性化と住民サービス向上に取り組む。

#### 阿寺溪谷夏季の対応

阿寺溪谷の自然を保全するため、平成30年度は、次の3点を新たに実施する。

- ① 溪谷内マイカー規制
- ② シャトルバス運行
- ③ 環境保全のための協力金の徴収

#### 庁舎建設進捗状況

庁舎建設用資材として村有林を活用するため本年度、中尾沢村有林を調査したところヒノキ、杉材で庁舎建設に必要な材積が見込めるとの結果が出た。平成30年度に村有林内の林道整備、平成31年度には伐採搬出の予定。建設に向け、実施設計の準備を進める。



「おおくわ議会だより」は環境に優しい再生紙とベジタブルインクを使用しています。

# キラリ! 中学生

## 大桑中学校 女子バスケットボール部

～苦しいこと 面倒なことから逃げない～



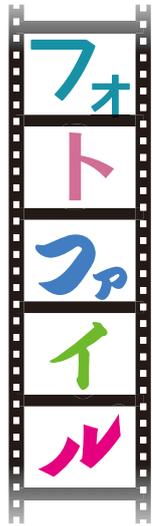
「しんどいとき、苦しいときに、眉間に皺をよせてうつむいていたら、本来発揮できるはずの力が発揮できなくなってしまう。だから、苦しい場面こそ、みんなで声を出して笑顔で乗り切ることができるようにしよう。」

これは、ある練習試合の後にコーチが話していたことです。ふざけた楽しさではなく、全員が前向きに、真剣に取り組んだ先にある楽しさというものを女子バスケットボール部では大切にしています。苦しいことを仲間と共に乗り越える大切さは、部活動だけにかぎって言えることではありません。普段の生

活でも苦しいこと、面倒なことから逃げない心づくりがとても重要となってきます。

現在、大桑中学校女子バスケットボール部は中信大会出場を目標に、日々練習に励んでいます。部活も日常生活も、まだまだ課題が見られる部分もありますが、自分達なりに課題と向き合い、悩みながら、周りの方たちに支えられながら、前へ進もうと努力しています。

勝負の郡大会まであとわずか。全力が発揮できる試合となるよう、心身ともに更なる成長を目指します。  
(顧問 中村幸恵)



須原・鹿島神社拝殿建設実行委員会  
委員長 高樋 悟さん



▼絵馬（上段）

雉二羽  
享保十七年  
(二七三二年)

胸毛と尾羽根の赤、牡丹の花弁の赤。白い牡丹の花びらは薄い桃色と思しき色。286年後の今も変わらぬ鮮やかな色は見事です。雉は婚姻色でしょうか。牡丹の花が咲く頃雄雉の鳴き声が聞こえるような情景が目につかびます。この二羽の雉は日本在来種の羽色とは違うのはなぜでしょう。

▼絵馬（下段右）

龍と琴を弾く女  
文化六年（一八〇九年）  
壇尻があつて例大祭には出ていたようです。

▼絵馬（下段左）

武者二人  
延宝四年（一六七六年）  
鹿島神社絵馬90点のうち一番古い年代の作品で、延宝四年には4点奉納されています。

4点全ての赤、緑、紫、金・黄色が、色落ちを

車の付いた立派な屋台の上で笛、太鼓、鼓、三味線等の打ち囃子にて町中を引き廻して楽しんでいましたが、この絵馬を奉納後次第に活動されなくなったようです。屋台の車輪の部品と思われる物有り。絵師蘭州は神坂馬籠（旧山口村）の屋号泉屋、蜂谷九右衛門の子。

感じさせない当時のまま現在に至っています。前年の延宝三年には神社が建替えられ、西尾家から御神輿の奉寄進を受けて須原祭が連続と続いています。  
今回の拝殿建替えに伴い、掲示場所から外された馬図、故事・伝説図、武者図、戦争図、祈願図、動植物図など、神社所蔵の全90点を公開しました。

表紙撮影  
水野 進さん

議会報編集特別委員  
委員長 木戸 勘一  
副委員長 瓜尾美佐子  
委員 沼 友行  
水野 進  
大前今朝男